

単元名：ふるさと海田の魅力発見！
～南小校区お宝発掘し隊～

指導者 中山 智文

単元について

○ 児童の実態

本学級の児童は、1学期の総合的な学習の時間「われら宿泊体験隊～3泊4日の小さな自立！君は何を学ぶ？～」の学習で、自然と関わりながら生活することのよさや、日頃気付けなかった親への感謝を感じることができている。また、体験を通して感じたことや学んだことを保護者に伝える活動では、必要なものを進んで考え、準備したり考えたことや学んだことを誰かに伝えることに対して意欲的で、活動場所の景色を描いて再現するなど保護者が楽しめる工夫を考えていた。

平成29年度「心の元気」アンケートにおいて、「自分が暮らす地域のことをもっと知りたいと思う」に対する肯定的回答が77%、「今住んでいる地域の行事に進んで参加しようと思う」に対する肯定的回答が83%と、自分達が住んでいる地域に対する興味・関心をもっている児童が多い。

○ 単元観

本単元は、自分たちの住んでいる地域の魅力を多くの人々に知ってもらうため、校区に残る文化財について調べ、「ガイドツアー」を通して保護者に紹介するものである。

まず、自分たちの校区に残る文化財にはどんなものがあるのかを海田ガイドの会の方々に案内してもらいながら調べていく。それぞれの文化財が建立された由来や現在に至るまでの歴史、当時の人々にとってどんな意味をもっていたのかなどを学ぶことで、その土地の人々が大切に守り抜いてきた貴重な物が多く残っているということに気付くことができる。

そして、「南小校区の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。」という思いのもと、より魅力を感じてもらえる「ガイドツアー」にするために、人に聞いたり自分で調べたりしたことを伝えることにより、課題を主体的に解決しようとする力や、収集した情報を関連付けて考える力、調査から得た複数の情報の中からより興味の湧く情報を選択する力を育てることができると思う。

この学習を通して、地域への愛着や誇りをもち、自己の生き方を見つめることのできる児童を育てられると考える。

○ 指導観

課題の設定の場面では、海田町について知っていることを発表させる。そこで、自分達が校区についてあまり知らないことや、他の小学校区には「千葉家」などよく知られている文化財があるが、南小校区のものはほとんど知られていないという現状に気付かせることで、自分たちの校区に眠る文化財について知るとともに、その魅力を多くの人に知ってもらいたいという意欲をもたせ、課題設定につなげていきたい。

情報収集の場では、海田町ガイドの会の方と一緒に校区ツアーに出て、自分たちの知らない校区の魅力を見付けさせる。その際、ガイドの会の方から聞き取りを行ったり実際に見たりする中で、紹介したい「お宝」についての情報を集めさせる。また、紹介する文化財が同じ児童同士でグルー

プをつくり，調べたことや考えたことを伝え合うことで，自分の考えを広げたり深めたりしながら，見通しをもって情報収集できるようにする。

まとめ・創造・表現の場では，保護者対象に自分たちが調べた校区の魅力についてガイドマップを作成し，「ガイドツアー」で紹介させる。

振り返りでは，保護者や地域の方などの感想をもとに，「お宝紹介ガイドツアー」の成果と課題を整理し，今後の生活の中で大切にしていきたいことをまとめさせる。

単元の目標及び内容について

- ・ みんなが幸せに暮らすことのできる海田町にするためにできることを見付け，主体的に課題解決しようとする態度を育てる。 **【主体性】**
- ・ 海田町の現状や課題，町づくりに関わっている人々について調べ，調べた情報を整理し，目的に応じて改善策を考えることができる。 **【思考力・判断力】**
- ・ 地域の一員としての自覚をもち，この学習を通して学んだことを，今後の生活に生かそうとすることができる。 **【自己理解】**

単元の評価規準

主体性	思考力・判断力	自己理解
・ ガイドマップ作成やツアー開催に必要な情報を進んで収集したり，準備したりしている。	・ ガイドマップ作成やツアー開催に向けて収集した情報を相互に関連付けながら，理由や根拠を明確にして，「お宝」の魅力伝える方法を考えている。	・ 活動を通して，地域への愛着を深めながら，校区の魅力伝えられる喜びを感じ，自分自身の成長に気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・ よりよい紹介をするために必要な情報について考えながら，進んで情報を収集したり，たくさんの人に校区の魅力が伝えられるように準備したりしている。	・ ガイドマップ作成やツアー開催に必要な情報を進んで収集したり，準備したりしている。
【思考力】	・ ガイドマップ作成やツアー開催に向けて収集した情報の中から，地域の魅力をたくさんの人に よりよく伝えるという視点で，情報を相互に関連付けながら，理由や根拠を明確にして，「お宝」の魅力伝える方法を考えている。	・ ガイドマップ作成やツアー開催に向けて収集した情報を相互に関連付けながら，理由や根拠を明確にして，「お宝」の魅力伝える方法を考えている。
【自己理解】	・ 活動を通して，地域への愛着をより深めながら，校区の魅力が伝えられる喜びを感じ，地域の活動や行事に進んで取り組んでみたいという思いをもち，自分自身の成長や友達のよさに気付いている。	・ 活動を通して，地域への愛着を深めながら，校区の魅力が伝えられる喜びを感じ，自分自身の成長に気付いている。

指導と評価の計画

全 23 時間

次	時	学習内容	評 価				
			主	考	自	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定①（１） ○学習課題を設定するとともに、学習の見通しを立てる。 ・海田町について知っていることを発表し、「ふるさと海田」の魅力を保護者や地域の方に発信するという学習課題を設定する。 ・学習計画を立て、学習で身に付けたい力について考える。	○			・「ふるさと海田」の魅力を保護者や地域に発信するという学習課題を設定している。	主体性
	2 ～ 5	情報の収集①（４） ○「海田町お宝発見ツアー」に参加し、海田町の魅力を見付ける。 ・海田町ガイドの会の方と一緒に校区ツアーに出て、校区の魅力を見付ける。 ・ガイドの会の方から聞き取りを行い、紹介したい「お宝」についての情報を集める。	○			・「海田町お宝発見ツアー」を通して、紹介したい魅力（お宝）を見つけている。	主体性
二	6 7	整理・分析① 情報の収集②（２） ○収集した情報を整理し、紹介したい校区の魅力についてさらに情報収集する。 ・紹介したい「お宝」についての情報を整理し、「お宝」の根拠や理由をボーン図に整理する。 ・海田町について書かれている資料などを読み、紹介したい内容について、さらに情報を集める。		○		・収集した情報を根拠を明確にして整理し、紹介したい校区の魅力についてさらに情報収集している。	思考力
	8 9	整理・分析②（２） ○収集した情報を整理・分析する。 ・収集した情報を整理し、紹介したい内容をワークシートにまとめる。		○		・収集した情報について、紹介したい優先順位を考え、キャンディ・チャートを用いて整理している。	思考力
	10 11	まとめ・創造・表現①・課題の設定②（６） ○プレガイドツアーの必要性に気付くとともに、ガイドマップを作成する。② ・紹介したい「お宝」について、ガイドマップにまとめ、プレガイドツアーの必要性に気付くとともに、プレガイドツアーを開く準備をする。	○			・紹介したい「お宝」について、ガイドマップに書く内容を考え、ガイドマップを作成している。 ・より良いガイドの仕方について考え、プレガイドツアーの必要性に気付いている。	主体性
	12 ～ 14	○プレガイドツアーを行う。③ ・グループごとに交流し、ガイドマップの内容の過不足や話し方の工夫についてアドバイスし合う。		○		・プレガイドツアーをグループで交流し、より良いガイドツアーに向けて、内容の過不足や話し方の工夫について考え、アドバイスし合っている。	思考力

15	<p>○プレガイドツアーを振り返り、ガイドマップの内容を見直す。①</p> <p>・プレガイドツアーを踏まえ、もっとよいガイドマップやツアーにするためには、どんな工夫が必要か話し合う。 【本時】</p>	○	<p>・プレガイドツアーを振り返り、もっとよいガイドマップやツアーにするために、どんな工夫が必要か考え、意見を交流している。</p>	思考力
16	<p>情報の収集③（１）</p> <p>○「お宝」の魅力発信に向けて、さらに必要な情報を集める。</p> <p>・さらに知りたいことや調べたいことについて、必要な情報を集め、ガイドマップやガイドツアーの紹介内容を決める。</p>	○	<p>・お宝の魅力が伝わるように、よりよいガイドツアーに向けて、さらに知りたいことや調べたいことについて必要な情報を集め、ガイドマップやガイドツアーの紹介内容を決めている。</p>	思考力
17 ・ 18	<p>まとめ・創造・表現②（５）</p> <p>○「お宝紹介ガイドツアー」に向けて、準備を行う。②</p> <p>・ガイドマップやガイドツアーに必要な物や分担を考え、計画を立てる。</p> <p>・計画をもとに、必要な物を準備したり練習したりする。</p>	○	<p>・お宝の魅力が伝わるように、より良いガイドツアーに向けて必要な物を準備したり練習したりしている。</p>	主体性
19 ・ 20 ・ 21	<p>○「お宝紹介ガイドツアー」を行う。②</p> <p>・保護者や地域の方などに、校区の魅力を伝えるガイドツアーを行う。</p>	○	<p>・ガイドツアーを行い、校区の魅力や理由を明確にして伝えている。</p>	主体性
22 ・ 23	<p>振り返り（２）</p> <p>○「お宝紹介ガイドツアー」を振り返る。</p> <p>・保護者や地域の方などの感想をもとに、「お宝紹介ガイドツアー」の成果と課題を整理し、活動を振り返る。</p> <p>○単元を振り返り、成果を分析し、自らの学びや学び方を振り返る。</p> <p>・学習の初めに立てた計画をもとに、自らの学びの成果や友達のよさを振り返るとともに、今後の生活の中で大切にしていきたいことをまとめる。</p>	○	<p>・ガイドツアーを振り返り、成果と課題を整理するとともに、単元全体を通して、自らの学びの成果や友達のよさ、今後の生活の中で大切にしたいことをまとめている。</p>	自己理解

本時の学習

(1) 本時の目標

- プレガイドツアーを振り返り、よりよいガイドマップやツアーにするための工夫を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- プレガイドツアーを振り返り、もっとよいガイドマップやツアーにするために、どんな工夫が必要か考え、意見を交流している。 【思考力】

(3) 本時の学習展開 (15 時間目 / 全 23 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時の学習を振り返るとともに、本時の学習課題を確認する。 ○プレガイドツアーを行ってみて、どんな課題が見付かりましたか。 ・台本を覚えていなかったから、相手を見ながらガイドをすることができなかった。 ・答えられない質問をされたときにどう返せばよいか分からなかった。	◇プレガイドツアーを通して見付かった課題を踏まえ、よりよいガイドマップやツアーにするためにはどうすればよいかについて考えていくことを確認する。	
めあて 課題を踏まえ、よりよいガイドツアーにするための工夫を考えよう。		
本時のゴールの見通し (評価規準)		
A : プレガイドツアーから見付かった課題を整理し、より良いガイドにするために様々な視点から解決策を考えている。 B : プレガイドツアーから見付かった課題を整理し、より良いガイドにするために解決策を考えている。		
2 プレガイドツアーの課題の解決策を考える。 ○どんな課題が挙げられたかを交流し、解決策を考えましょう。 ・同じグループ内 □思考の場の工夫 焦点化する 「内容」「工夫」「話し方」の3つの視点でガイドを改善する。	◇よいガイドの仕方やアドバイスをしている児童を取り上げ、モデルとして示すことにより、全体へ伝える。 ◆課題に対する解決策が浮かばない児童やグループには、個別に声をかける。 ◇「内容」「工夫」「話し方」の3つの視点でよりよいガイドに向けて改善するよう助言する。	
3 課題を解決する方法について考えたことを交流する。 ○どんな解決策が出ましたか。 ・ガイドの台本は繰り返し読み、覚えておく。	◇それぞれのグループで出た解決策を交流することで、より効果的な解決策に気付かせる。	◎プレガイドツアーから見付かった課題を整理し、より良いガイドにするために解決策を考えている。【思考力】 (発言・行動観察・

<ul style="list-style-type: none"> ・どこの説明をしているか分かるように、ガイドマップを指しながら説明する。 ・答えられなかった質問に対する情報を集める。 		ワークシート)
<p>★めざす児童の姿</p> <p>答えられない質問がまだまだあるということが分かった。よりよいガイドに向けて、もう一度資料を用いて詳しい情報を集める必要がある。</p>		
4 本時の学習をまとめ、振り返る。	◇次時は、本時で考えた解決策を基に、さらに情報収集をすることを伝える。	

(4) 板書計画

<p>め 課題を踏まえ、よりよいガイドツアーにするための工夫を考えよう。</p>	
<p>課題</p>	<p>解決策</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・台本を覚えられていなかった。 	<p>➡ 台本を繰り返し読んで覚える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見ながらガイドをすることができなかった。 	<p>➡ 友達に聞いてもらいながら、ガイドの練習をする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・答えられない質問があった。 	<p>➡ もう一度、海田町史を読んだり、インターネットで検索したりする。</p>

〈参考〉「学びのモニタリング」

学びのモニタリング

「ふるさと海田の魅力発見！」南小校区お宝発掘し隊

五年 組 ()

自分から取り組む力

ガイドマップ作成やツアー開催に必要な情報を進んで収集したり、準備したりすることができたか。

- (①とてもよくできた ②よくできた ③あまりできなかった ④できなかった)

〈理由〉

深く考える力

ガイドマップ作成やツアー開催に向けて収集した情報を相互に関連付けながら、理由や根拠を明確にして、「お宝」の魅力を伝える方法を考えることができたか。

〈理由〉

自分をふりかえろう

活動を通して、校区の魅力を伝えられる喜びを感じ、自分自身の成長に気づくことができたか。

〈理由〉

